

文芸書 ご担当者さま

寝苦しい夜の数時間読書

あっという間に読み終わられるのに面白さと感動が味わえる



魔法の夜

スティーヴン・ミルハウザー 著／柴田元幸 訳

月の光でお読みください、作家の神髄が凝縮された、魅惑の中篇！

夏の夜更け、アメリカ東海岸の海辺の町、眠らずに過ごす、さまざまな境遇の男女がいる。何を求めているかもわからず、落ち着かない14歳の少女、ひとつの小説を長年書きつづけている39歳の男、その男を優しく見守る60代の女性、マネキン人形を恋い慕うロマンチストの酔っ払い、仮面を着けて家屋に忍び込む

少女たちの一団……ほぼ満月の光に照らされ、町なかをさまよう人びとの軌跡が交叉し、屋根裏部屋の人形たちが目を覚ます……。



年月日

閻連科 著／谷川毅 訳

受け継がれる命に希望が見出され、安らかな余韻を残す

山深い農村が千年に一度の大日照りに襲われた。村人たちは干ばつから逃れるため、村を捨てて出ていく。73歳の「先じい」は、自分の畑に一本だけ芽を出したトウモロコシを守るため、村に残る決意をする。一緒に残ったのは、目のつぶれた一匹の犬「メナシ」。わずかなトウモロコシの粒をめぐり、ネズミとの争奪

戦の日々が続く。やがて井戸も枯れ果て、水を求めて谷間に赴くと、池でオオカミの群れと出くわし、にらみ合う。もはやこれまでか……先じいが最後に選んだ驚くべき手段とは？

貴店印	希望数	書名	本体価格
		魔法の夜 [四六判変型／200頁] 978-4-560-09241-5	2,100円
		年月日 [新書判／150頁] 978-4-560-07238-7	1,300円



(株)白水社 営業部 TEL 03-3291-7811

FAX 03-3291-8448 (備考 2-20)